

わが家の防災メモ

火事・救急

119番

警察

110番

災害用
伝言ダイヤル

171番

■家族の安否確認～災害用伝言ダイヤルの使い方～（※震度6弱以上の地震などの災害発生時にサービス開始）

①伝言を録音するときは→ **171** → 1 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 → 伝言を吹き込む

②伝言を再生するときは→ **171** → 2 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 → 伝言を聞く

案内音声が流れます

被災地の人は自宅の電話番号を、
被災地以外の人は災害地の人の電話番号を市外局番から入力

30秒以内

※携帯電話各社でも大規模災害時には「災害用伝言板」サービスを提供します。各社のメニューから「災害用伝言板」を開く。

災害情報(ラジオ周波数)

AM	NHK第1	1503kHz	NHK第2	774kHz	ABS	936kHz
FM	NHK-FM	86.7MHz	エフエム秋田	82.8MHz		

緊急連絡先

連絡先	電話番号
潟上市役所	853-5301
潟上市役所 天王出張所 (潟上市天王保健・福祉センター)	853-5377
潟上市役所 昭和出張所	855-5110
潟上市役所 飯田川出張所	877-7800
潟上市役所 追分出張所 (潟上市勤労青少年ホーム)	873-5672

連絡先	電話番号
男鹿地区消防署 天王分署	878-3434
男鹿地区消防署 天王南分署	872-1119
湖東地区消防署 昭和分署	877-2266
五城目警察署 天王交番	878-2235
五城目警察署 上出戸交番	878-4109
五城目警察署 昭和交番	877-2047
五城目警察署 飯田川警察官駐在所	877-2603

家族の連絡先

地震が発生すると被災地の外からの通話が集中しかかりにくくなります。
グレーや緑(ピンクは除く)の公衆電話は災害時優先電話であり、一般電話よりもかかりやすくなっています。

家族の名前	連絡先(勤務先・学校など)	電話番号	携帯電話番号

親せき・知人の連絡先

被災地から外部への電話は比較的つながりやすいと考えられます。
そこで、遠隔地の親せきや友人などに依頼して、連絡中継点になつてもらう方法も有効です。

名前	電話番号	携帯電話番号	メモ

避難場所

避難場所

家族と離れてしまった場合の集合場所

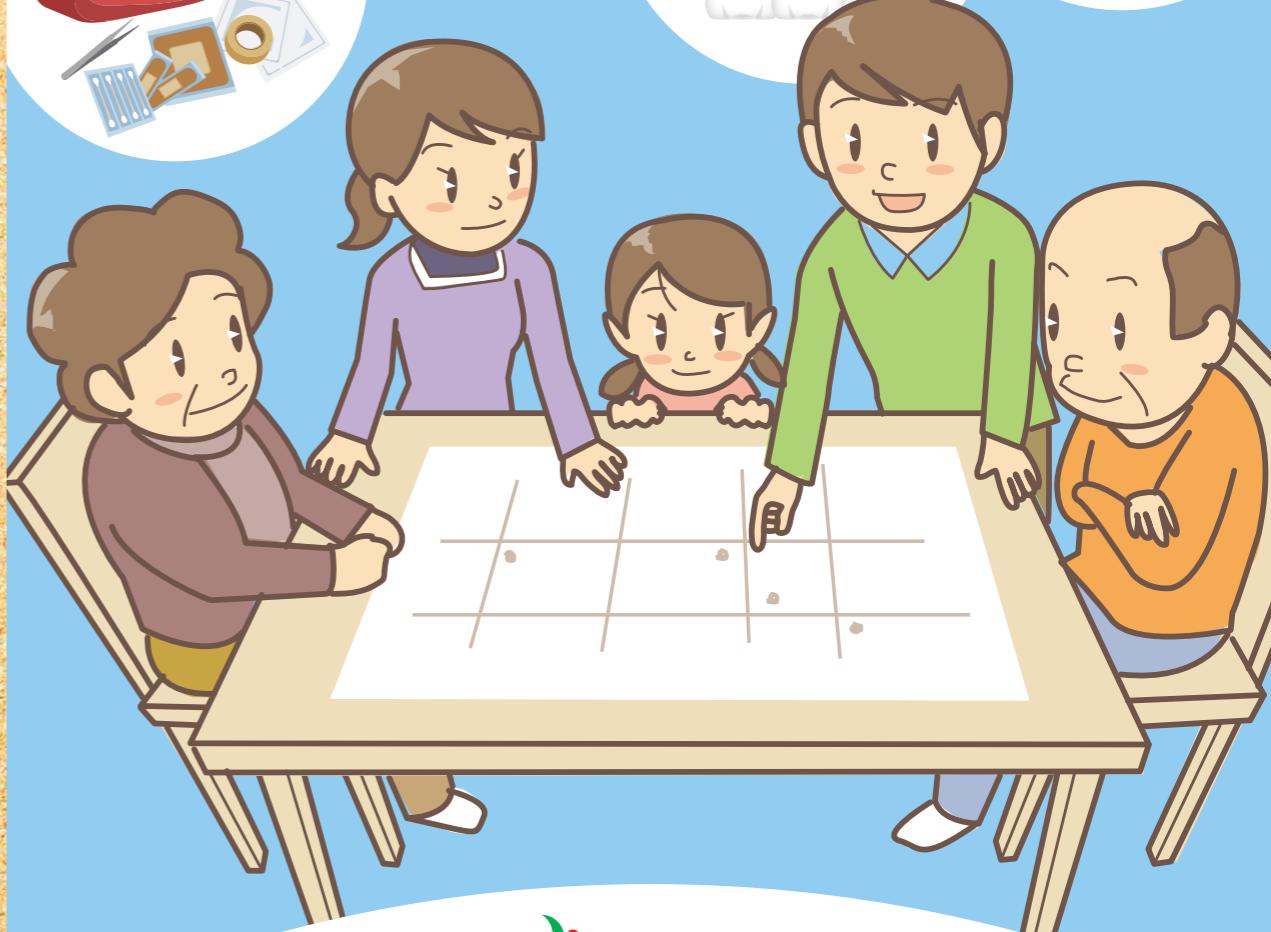
わが家の

地震 津波 風水害 火災 から
身を守ろう!

防災対策

保存版

無用



潟上市

潟上市役所 総務課危機管理班 TEL.(018)853-5301



はじめに 本書の使い方

日ごろからの備え『もしも』に備えよう!

わたしたちは、突然の災害に対してとっさに何ができるでしょうか。あわててしまって、何も手につかないことが多いものです。ひとは急なできごとに対処するには、準備が必要です。

災害の発生はいつ起こるかわかりません。災害に日ごろから備えておくことで、被害を少なくし、自分と、家族と、住んでいる街を守りましょう。



家庭で防災について話し合おう!

- ふだんから家族で役割を話し合い、それぞれの分担を決める。
- 子どもやお年寄りの避難は誰が責任をもつか。
- 誰がなにを持ち出すか。
- 非常持出品の備えと置き場所。
- 救急医薬品と火気の点検と確認。
- 家のなかで一番安全な場所と危険な箇所はどこか。
- 避難場所、避難路はどこにあるか確認する。
- 家族が離れてしまったときの連絡方法。
- 防災カードの作成。

防災カードの使い方

- このカードを家族の人数分コピーして各自の必要事項を記入してください。
- 二つ折りにして、外出時には必ず身につけるようにしましょう。



防 災 カ カ ド	
名前	性別 男・女 生年 明・大・昭・平 月日 年 月 日
住所	〒 都・道・府・県
自宅電話	携帯 PHS
会社・学校	電話番号
血液型	備考(病名アレルギー・常備薬など)
かかりつけ医療機関 (住所)	(名称) (電話)
緊 急 の 連 絡 先	
名 称	電話番号
住 所	
家族の避難場所	
家族の集合場所	



非常持出品・非常備蓄品を備えておこう

なぜ必要なのか?

なぜ非常用品の準備が必要なのか、改めて確認してみましょう。災害が発生した場合、道路やライフル線が寸断されて物資や情報の流通がとだえ、地域が孤立してしまう恐れがあります。特に災害の直後は、公的機関による支援体制がととのうまでにしばらくかかることが予想されますので、各家庭や自治会、自主防災組織などの住民組織で、最低限必要な水・食料などを備えておくことが必要です。



備えておきたいもの

では、非常用品は、どのようなものを用意しておけばよいのでしょうか。一般的に、**最低3日間分の避難生活のための物資の蓄え**が必要とされています。

用意するものは人や家庭によって異なりますが、備えておきたい非常持出品、非常備蓄品としては次のようなものがあります。これを参考にご自分やご家族にとって必要なものを準備してください。持出品と備蓄品は分けて用意しておきましょう。

非常持出品 避難のときにもっていくもの

最低限必要なものを用意します。避難場所まで無理なく持って歩ける重さかどうかを確認しましょう。すぐに取り出せるところに置いておきましょう。

飲食品	飲料水(ペットボトルなど)、非常食など。
救急医薬品・常備薬	ばんそう膏、消毒液、脱脂綿、包帯、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬など。持病のある人は常備薬。また、処方せんなどのコピーを用意しておきましょう。
携帯ラジオ	予備の乾電池も忘れずに。手回しの懐中電灯つき携帯ラジオなど。
懐中電灯	できれば1人に1個用意する(携帯電話充電機能付きもあります)。
生活用品	衣類、下着(旅行用の紙下着もあります)、雨具など。冬季では防寒着も必要です。ティッシュ、ウェットティッシュ、タオル、ビニール袋。マッチ、ライター。筆記用具、缶切り、ナイフなど。また生理用品、オムツ、めがねなど(人によって異なります)。
貴重品	現金、通帳、印鑑、権利証書、免許証や健康保険証(またはそのコピー)など。

非常備蓄品 避難生活に必要な生活用品

非常備蓄品として備えておきたいものは、3日分程度の飲料水と食料品、燃料類、簡易トイレ、消火器やおの・ハンマーなどです。また、家族構成にあわせて定期的に見直しましょう。

飲料水	3日分程度。飲料水は1人1日3リットルを目安に。生活用水は、風呂の残り湯など利用するとよい。食料はそのまま食べられる非常食品や、レトルト食品、缶詰などを用意。調味料もあると便利。紙コップ、紙皿、割りばしなども用意しておきましょう。
生活用品	カセットコンロと予備のガスボンベ。毛布、使い捨てカイロ、ビニールシート、トイレットペーパー、軍手、簡易トイレ、ドライシャンプー、包装ラップ(水が使えないときに手や皿に巻く。体の保温にも)。ビニール袋(ポリタンク、トイレ、防寒具・雨具のかわりにも)。
消火・救出用具などの資器材	消火用具、バール、おの、ハンマー、スコップ、のこぎり、車のジャッキ、ロープ、防水シートなど。
家族構成にあわせたもの	乳幼児 粉ミルク、ほ乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、ウェットティッシュ、おぶいひもなど。 妊娠婦 脱脂綿、ガーゼ、さらし、ウェットティッシュ、T字帯、新生児用品、母子手帳など。 要介護者 おむつ、ティッシュ、ウェットティッシュ、補助具の予備、常備薬、障害者手帳など。

避難の際に両手が使えるように、非常持出品はリュックサックなどに詰めておき、取り出しやすいように玄関などの決まったところに置いておきましょう。準備した非常持出品や非常備蓄品は定期的に点検をしましょう。中でも水や食品は賞味期限を確認し、年に1回は新しいものと取り替えましょう。





地震対策

？地震から身を守るためにには？

予測がなく、ある日突然起るのが地震です。強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限りすばやく知らせる「緊急地震速報」などを活用し、落ち着いて行動することが大切です。



自分を守る



急いで、テーブル、机の下にもぐりこむ

- あわてて外に飛び出さない。
- 家具の近くや照明器具の下から離れよう。
- ガラス片などによるケガ防止のため、屋内でもはき物を。



火の始末 逃げ道の確保



心得 2 地震が起きたとき、自分の身は自分で守るのが基本です。 日頃から家中の中や周辺の整理点検を行いましょう。

ゆれがおさまったら

ゆれが小さいとき、または、ゆれがおさまったら、火の始末。ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。

危険なときは 避難する



！家具が倒れるほどの 激しい揺れや火災が発生し、天井まで移った場合は、すぐ避難

- 火災で逃げる場合は、大きな声で、まわりに知らせましょう。
- あわてずに、塀や落下物、破片に注意して避難しましょう。
- 車は使わない。徒歩で避難しましょう。
- 車から離れるとき、鍵はつけたままにしましょう。



正しい情報を 収集する



情報の確認

- 電話はなるべく使わない。
- 災害用伝言ダイヤルを利用しよう。
- ラジオなどで情報の確認をしましょう。

！自宅に戻るのは安全を確認してからにしましょう。

帰宅が困難なとき

通勤・通学・外出中に突然大きな地震におそれ、交通機関がまひしてしまったとき、自宅に戻れなくなることもあります。勤務先や学校から徒歩でも帰宅できるように、ふだんから備えておきましょう。

職場にも防災用品を

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> 携帯食料 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 車手 |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> 地図 |
| <input type="checkbox"/> 運動靴 | <input type="checkbox"/> 寒暖対策用品 |
| など | |

帰宅地図

災害の状況で道路が不通になることもあります。いくつかのルートを決めておきましょう。



地震に備える！

家の内外をチェックして危険箇所を確認しましょう。
放置できない危険箇所については、修理や補強を行いましょう。

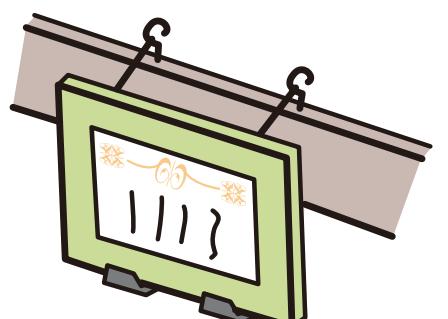
☑ 家具を固定する

- 家具を壁に密着させ、器具などを使って固定すること。
- 転倒防止器具は、大きさに合ったしっかりしたものを取り付ける。壁の下地などにも注意する。
- 滑りやすいような家具や、ピアノの脚には滑り止めを付けること。
- 寝室や子供、お年寄りがいる場所には、できるだけ家具などは置かないようにする。



☑ 落下物の整理点検

- 重い物は、家具の上などの高いところに置かないようする。
- 照明器具、絵画、額縁などは、落下防止器具を取り付ける。
- 食器棚などのガラス戸には、ガラス飛散防止フィルムを貼る。開き戸の場合には止め金を付ける。
- 窓ガラスにもガラス飛散防止フィルムを貼るとよい。カーテンをしめておくのも効果がある。
- テレビも大きな地震では飛ぶことがあるので、寝室では位置に注意する。

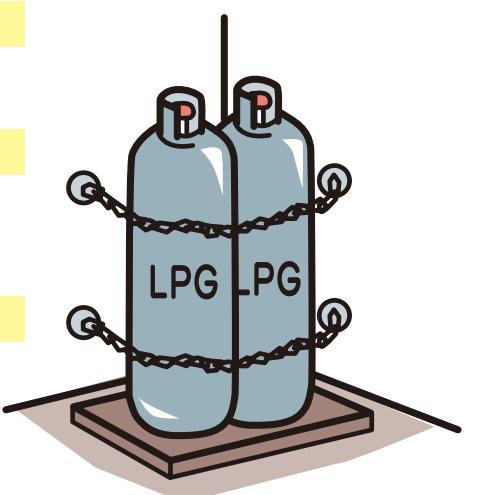


☑ 安全、迅速な避難のために

- 廊下や玄関は、物を置かず、開けておく。

☑ 家のまわり

- プロパンガスのボンベなどは、倒れないように鎖で固定する。
- ブロック塀や門柱は、安全な対策を施すか、生け垣にする。



☑ 自宅の耐震診断を受けよう



風水害対策

？風水害って？

強風や豪雨等によって洪水害、高潮害、土砂災害、風害などの風水害がおきます。

洪水害

洪水害には河川や湖沼の水が氾濫して発生する「外水氾濫」と、降った雨水が正常に排水されずに発生する「内水氾濫」があります。最近では、河川の氾濫より、都市における内水氾濫も大きな脅威となっています。

高潮害

台風などで気圧低下が起こり、強風によって海面が異常に上昇して発生する災害をいいます。

土砂災害

大雨や融雪によって斜面が急激に崩れ落ちる「がけ崩れ」や、比較的ゆっくりと滑り落ちる「地すべり」、水と混じりあった土や石が流れ出す「土石流」があります。山沿いの地域だけでなく、丘陵地を開発した新興の住宅地にも災害がおこることがあります。

風害

強い風による災害です。強い風は、日本の場合、台風によるものが多いのですが、その他、冬の北西の季節風、最近は発達した低気圧の風も多く、「竜巻」や「おろし」などの風もあります。

洪水害のときの避難

1 服装に注意

必ず靴をはくこと。長靴は水が入って歩きにくい。
ひもでしめられる運動靴などをはくこと。頭も保護しよう。



2 深さに注意する

歩ける深さは一般的に男性70cm、女性50cmですが、
水の流れの速いときには注意。



3 集団で避難しよう

ロープでお互いを結ぶ。子どもやお年寄りから目を離さずに。

4 足元に注意

水面下には何があるかわかりません。長い棒などで確認しながら歩こう。

5 お年よりや病気のひと、子どもを守る

背負ったり、浮き袋をつけさせたりすること。

高潮の備え

1 危険度の確認

自宅・勤務地周辺の高潮危険度を確認しておく。避難場所への経路も確認しておく。

2 高潮の避難 避難は早めに

風雨の状況、自分や家族の体力と避難時間を考え、自ら判断して避難しましょう。
自宅や勤務地の土地の状況にも気をつけましょう。停電や道路の不通もあります。注意しましょう。

3 避難するときの注意

- 火の元を確認する。 ●外出中の家族に避難先を連絡できるように。
- 動きやすい服装にし、なるべく一人で行動することはやめましょう。
- 車の使用はやめましょう。 ●お年寄りや子どもをみんなで守りましょう。



！被災後の点検についての注意

- 1 落下や倒壊した危険物などに注意する
- 2 水害後は衛生に注意する。浸水後の消毒は念入りにすること。家をよく乾燥させること。
- 3 断線した電線などは棒などで避けよう。
- 4 服装は安全で動きやすいもので。



火災対策

！初期消火は3分内で！

1 早く知らせる

大きな声で隣近所に知らせよう。



2 早く消す

3分以内が初期消火の限度。

備え付けの消火器や、水、座布団などを使って火を消す。

3 早く逃げる

火が天井に届いてしまったら、避難すること。避難するときは、燃えている部屋の窓や戸をしめて空気を遮断すること。

煙の中を逃げるときは、ぬらしたタオルなどで口や鼻をおおい、できるだけ姿勢を低くして逃げること。

日頃から火災を起こさないよう注意することが大事ですが、もし火災に見舞われた場合のために、皆さんのご家庭にも消火器を備えましょう。

！ 消火器の種類

ご家庭に備えるのに適した消火器としては、以下のような種類があります。

粉末消火器

強化液消火器

住宅用消火器

エアゾール式簡易消火具

ラベル

適応火災の種類

普通火災用（白：A火災） 木材、紙、繊維などが燃える火災

油火災用（黄：B火災） 石油類その他の可燃性液体、油脂類などが燃える火災

電気火災用（青：C火災） 電気設備・電気器具などの火災

ご家庭に最初に備える場合、一般家庭で起り得る火災の多くに対応できるA B C粉末消火器を選ぶと良いでしょう。なお、粉末、強化液には各々の特性がありますので、これをいかして、種類の異なる消火器を備えると理想的です。詳しくはお問い合わせください。

また、消火器は大きいほど消火能力は高いのですが、ご自分で扱いやすい大きさのものを選びましょう。

！ 消火器の注意

■ 使用期限がありますので、確認しましょう。

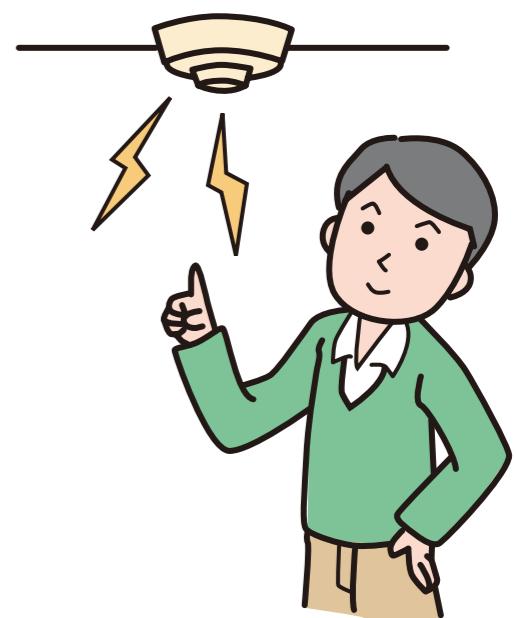
■ 設置場所に注意しましょう。

■ 日常的に点検しましょう。



住宅用火災報知機の設置

平成16年に消防法が改正され、新築住宅では平成18年6月からとりつけることになっています。既存住宅にも設置義務がありますので注意してください。



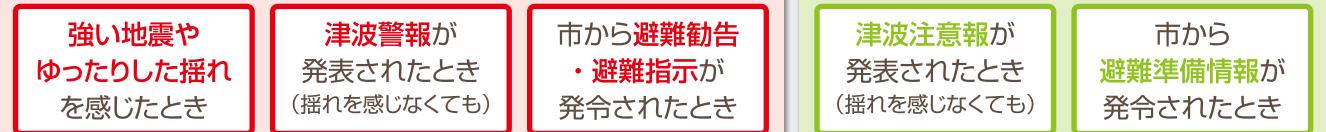
津波対策

① 津波から「命」を守るためにには?

押し寄せてくる巨大な津波から命を守るには、できるだけ遠く高いところへ避難するしかありません。「自分の命は自分で守る」ということを強く意識してください。「津波が来たら、すぐに避難する」。このことを肝に銘じておきましょう。

「命」を守る — 津波対策フローチャート

② 現状をきちんと把握する — このようなときは、どうする? —



すぐ避難する

避難に備える

③ 状況に応じた行動を! — このような行動を心がけよう —

- 海岸にいる人は、直ちに海岸から遠く離れ、高い場所へ避難する。
- 海岸付近の住民は直ちに避難する。
- 自分の命は自分で守ることを意識する。



- 海水浴や磯釣りはすぐに中止し、素早く陸上の安全な場所へ避難する。
- 海岸付近の住民はいつでも避難できるように準備する。



④ 安全が確保できたら — 避難・避難準備が済んだ後は —

- 正しい情報をラジオ・テレビなどで入手する。



- 津波は繰り返し襲来するので、警報・注意報が解除されるまでは絶対に海岸や河川に近づかない。



避難のポイント

地震の揺れが小さくても 津波が来る場合がある

地震の揺れがそれほど大きくなくても津波が起こるケースは、過去にもしばしばありました。海岸付近では小さな揺れでも、揺れを感じなくて、まずは避難を最優先すべきです。

「遠く」よりも 「高く」へ

すでに浸水が始まつて、避難できないときは、遠くよりも高い場所に逃げることが原則です。ただ、その場合でも、できるだけ海岸から離れた場所を選びましょう。

引き潮がなくても 津波は来る

津波の前には潮が引くとよく言われますが、前触れとして必ず引き潮があるとは限りません。引き潮がなくても、津波が襲ってくることがあります。



避難施設リスト



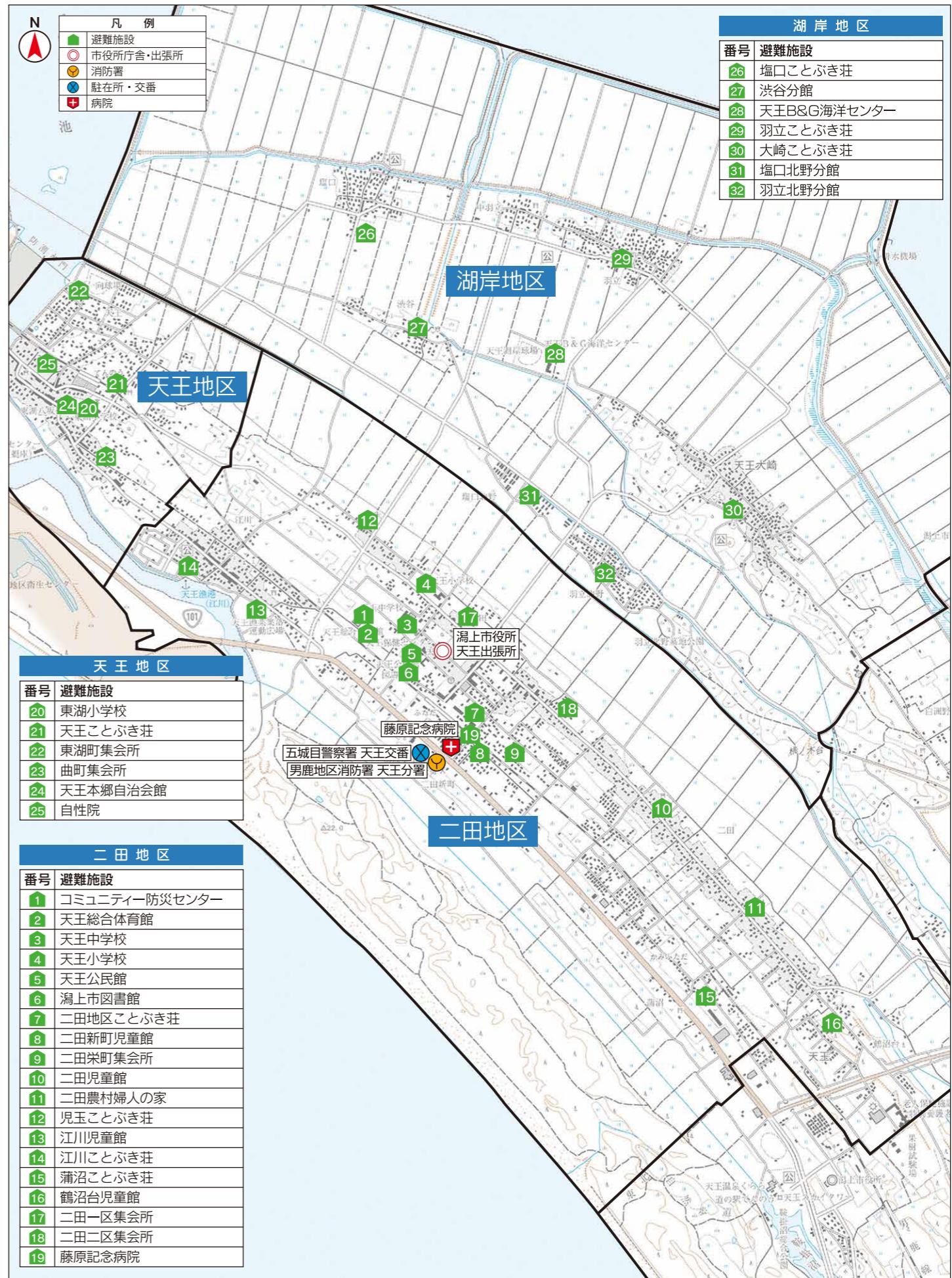
番号	地区名	名称	住所	風水害	土砂災害	地震	国民保護
26	湖岸	塙口ことぶき荘	天王字不動下529	○	○	○	×
27		渋谷分館	天王字不動台62	○	○	○	×
28		天王B&G海洋センター	天王字羽立片山254-2	○	○	○	○
29		羽立ことぶき荘	天王字羽立131-1	○	○	○	×
30		大崎ことぶき荘	天王大崎字野沢166-1	○	○	○	×
31		塙口北野分館	天王字塙口北野4	○	○	○	×
32		羽立北野分館	天王字羽立北野1-124	○	○	○	×
20	天王	東湖小学校	天王字宮の後303	○	○	○	○
21		天王ことぶき荘	天王字ハラヘ4-3	○	○	○	×
22		東湖町集会所	天王字一向11-103	○	○	○	×
23		曲町集会所	天王字御休下209-1	○	○	○	×
24		天王本郷自治会館	天王字天王123	○	○	○	×
25		自性院	天王字天王71	○	○	○	×
1	二田	コミュニティー防災センター	天王字持長根93-1	○	○	○	○
2		天王総合体育館	天王字持長根93-1	○	○	○	○
3		天王中学校	天王字宮の後3	○	○	○	○
4		天王小学校	天王字兎玉82	○	○	○	○
5		天王公民館	天王字上江川47-398	○	○	○	×
6		鴻上市図書館	天王字御休下1-1	○	○	△	○
7		二田地区ことぶき荘	天王字上江川213-1	○	○	○	×
8		二田新町児童館	天王字上江川47-1190	○	○	○	×
9		二田栄町集会所	天王字上江川170	○	○	○	×
10		二田児童館	天王字二田184-2	○	○	○	×
11		二田農村婦人の家	天王字二田154	○	○	○	×
12		兎玉ことぶき荘	天王字沖田台350-1	○	○	○	×
13		江川児童館	天王字江川151	○	○	○	×
14		江川ことぶき荘	天王字江川51-4	○	○	○	×
15		蒲沼ことぶき荘	天王字蒲沼69-2	○	○	○	×
16		鶴沼台児童館	天王字鶴沼台54	○	○	○	○
17		二田一区集会所	天王字下分水42-3	○	○	○	×
18		二田二区集会所	天王字二田208-3	○	○	○	×
19		藤原記念病院	天王字上江川47	○	○	○	×
33	出戸	天王温泉くらら	天王字江川上谷地109-2	○	○	○	○
34		細谷ことぶき荘	天王字上狼縁1-2	○	○	○	×
35		下出戸体育館・分館	天王字下浜山105-1	○	○	○	○
36		出戸小学校	天王字北野231-2	○	○	○	○
37		出戸地区ことぶき荘	天王字北野239-2	○	○	○	×
38		上出戸体育館・分館	天王字北野164-15	○	○	○	○
39		三軒屋ことぶき荘	天王字北野117-2	○	○	○	×
40		出戸地区コミュニティセンター	天王字北野329	○	○	○	×
41		出戸新町ことぶき荘	天王字北野299-38	○	○	○	×
42	追分	追分地区児童館	天王字上北野75	○	○	○	○
43		追分西児童館	天王字追分西25-15	○	○	○	×
44		追分西北ことぶき荘	天王字上北野121-22	○	○	○	×
45		追分小学校	天王字追分西26-7	○	×	○	○
46		追分自治会館	天王字長沼132-9	○	○	○	×
47		勤労青少年ホーム	天王字長沼132-21	○	○	○	○
48		天王南中学校	天王字上北野4-38	○	○	○	○
49		牛坂ことぶき荘	天王字追分117-179	○	○	○	×

※風水害：台風、豪雨、暴雨風などのときの避難施設
地震：地震の時の避難施設
土砂災害：土砂災害時の避難施設
津波：津波発生時の避難施設
国民保護：テロ、ミサイル等の武力攻撃時の避難施設

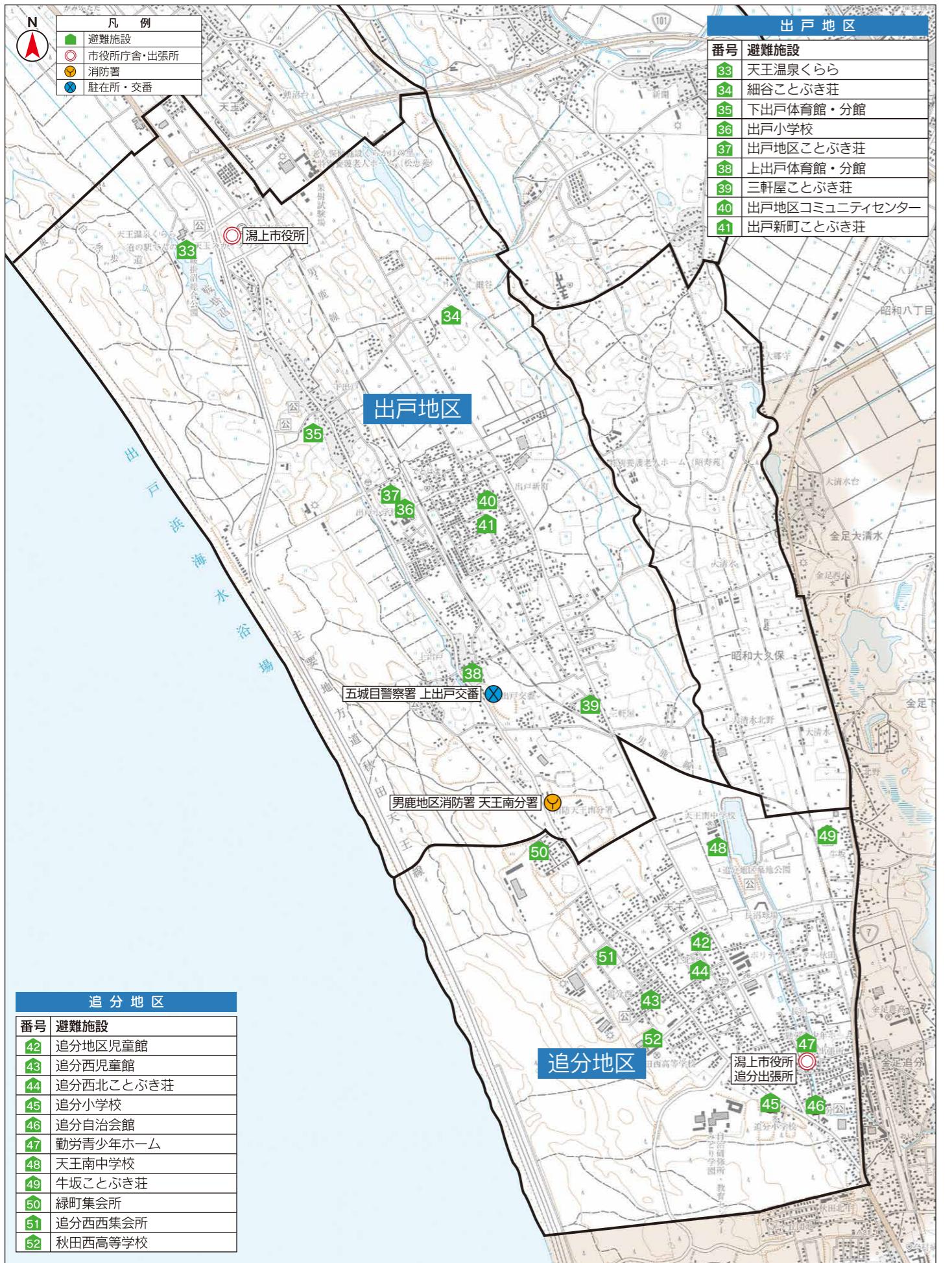
○：避難施設として使用できる
△：○印の避難所が使用できないとき
×：避難所として使用できない

番号	地区名	名称	住所	風水害	土砂災害	地震	国民保護
50	追分	緑町集会所	天王字追分西32-173	○	○	○	×
51		追分西西集会所	天王字追分西66-2	○	○	○	×
52		秋田西高等学校	天王字追分西26-1	○	○	○	×
58	中央	昭和公民館川向分館(タンボボ館)	昭和大久保字イカリ沖18-4	○	○	○	×
59		乱橋地区交流情報拠点施設	昭和八丁目字汲田24	○	○	○	×
60		レイクプラザ昭和(中央地区公民館)	昭和大久保字町後247	○	○	○	○
61		大久保児童館	昭和乱橋字下畠61-7	○	○	○	×
62		昭和農村環境改善センター(昭和公民館)	昭和大久保字堤の上1-3	○	○	○	○
63		昭和体育館	昭和大久保字元木田179	○	○	○	○
64		昭和介護予防センター	昭和大久保字堤の上1-3	○	○	○	×
65		大豊小学校	昭和大久保字高田22	○	○	○	○
66		羽城中学校	昭和大久保字元木田145	○	○	○	○
67		昭和中央児童館	昭和大久保字元木田68	○	○	○	×
68		中町集会所	昭和大久保字町後45-2	○	○	○	×
69		上町自治会館	昭和大久保字小橋24	○	○	○	×
70		元木分館	昭和大久保字堤ノ上34-11	○	○	○	×
71		下町分館	昭和大久保字屋布24-6	○	○	○	×
53	西部	野村地区多目的研修センター	昭和大久保字北野白洲野上37-2	○	○	○	×
54		湖南交流センター	昭和大久保字後谷地4-1	○	○	○	×
55		天神下集落農業構造改善センター	昭和大久保字北野大崎道添40-4	○	○	○	×
56		八郎まつり伝承館	昭和大久保字音羽下342	○	○	○	×
57	南部	昭和南部児童館	昭和大久保字北野街道上56-8	○	○	○	×
92	豊川	竜毛地区交流情報拠点施設	昭和豊川竜毛字觀音田30-1	○	○	○	×
93		上虻川集落農事集会所	昭和豊川上虻川字山王田5-1	○	×	○	×
94		郷土文化保存伝習館	昭和豊川山田字家の上64	○	×	○	○
95		真形草生土集会	昭和豊川楓木字真形沢1-5	○	○	○	×
96		新葉児童館	昭和豊川上虻川字新所130-1	○	○	○	×
97		多目的交流施設	昭和豊川船橋字鈴木8-1	○	○	○	×
72	下虻川	羽立児童館	飯田川下虻川字道心谷地48-1	○	○	○	×
73		羽立神明自治会館	飯田川下虻川字街道上一本木34-1	○	○	○	×
74		ふれあいの家	飯田川下虻川字屋敷40-1	○	○	○	△
75		中町会館	飯田川下虻川字屋敷120-1	○	○	○	×
76		下虻川分館	飯田川下虻川字屋敷40-1	○	○	○	△
77		飯田川公民館	飯田川下虻川字八ツ口66	○	×	○	○
78		けやき児童館	飯田川下虻川字蟹沢114	○	×	○	×
79	和田妹川	ふれあいスポーツ会館	飯田川和田妹川字岩崎8-4	○	×	○	○
80		和田妹川自治会館	飯田川和田妹川字出張32-1	○	×	○	×
81		和田児童館	飯田川和田妹川字和田25-1	×	×	×	×
82		矢坂会館	飯田川和田妹川字坂ノ下51	×	×	○	×
83		妹川浜集会所	飯田川和田妹川字四百刈2	○	×	○	×
84		飯田川小学校	飯田川和田妹川字岩崎12-12	○	×	○	○
85		飯田川保健福祉センター	飯田川和田妹川字千刈8-2	○	×	○	○
86	金山	金山分館	飯田川金山字家ノ前83-2	×	×	×	×
87	飯塚	宮下会館	飯田川飯塚僧ヶ沢4	×	×	○	×
88		あかしや会館	飯田川飯塚字樋ノ下66	○	○	○	×
89		飯塚浜生活改善センター	飯田川飯塚字片田35-5	○	○	○	×
90		平成会館	飯田川飯塚字中谷地89-2	○	○	○	×
91		飯塚児童館	飯田川飯塚字深田19-2	○	○	○	×

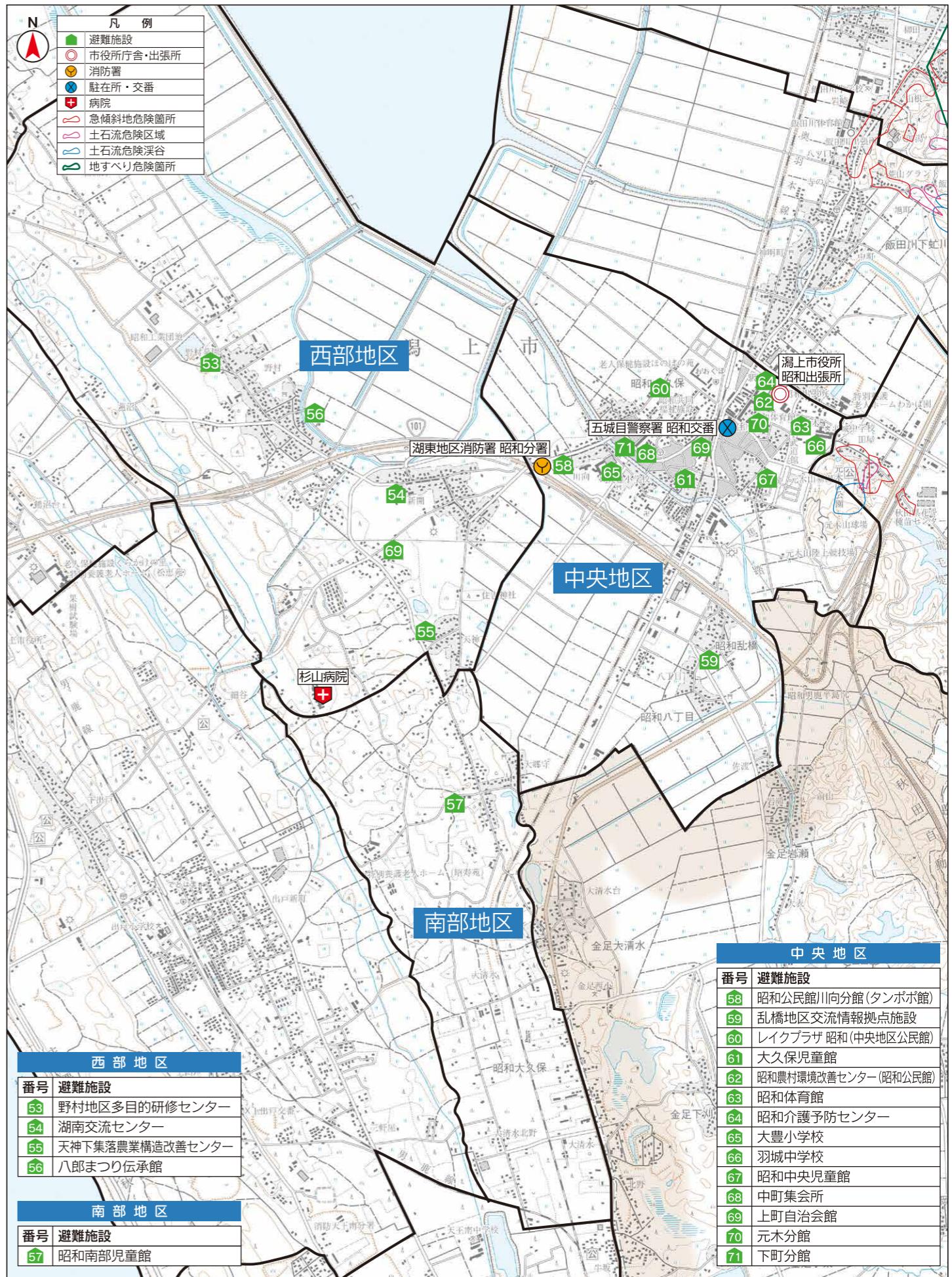
避難施設マップ① 湖岸・天王・二田地区



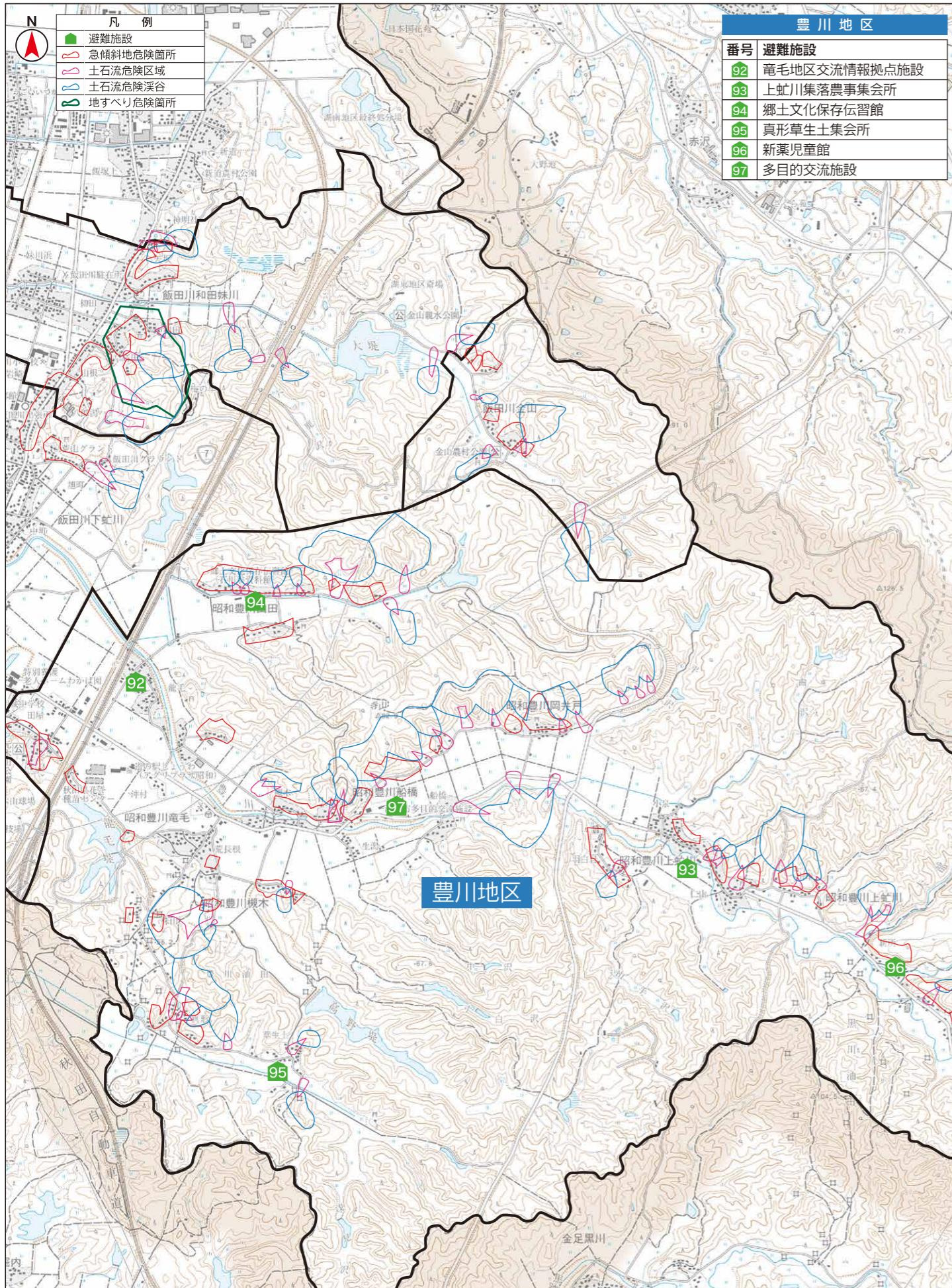
避難施設マップ② 出戸・追分地区



避難施設マップ③ 西部・中央・南部地区



避難施設マップ④ 豊川地区



避難施設マップ⑤ 飯塚・下虻川・和田妹川・金山地区

